







此の物語は

古今東西に

あまたあり

てしるべき

事なりとて

書きたり

しがその

中にも

あまた

ありしが

この中に

あまた

ありしが

この中に

あまたありしが  
この中にあまた  
ありしがこの中  
に

あまたありしが  
この中にあまた  
ありしがこの中  
に



一歩踏むと...



この世に...





お茶を  
飲ませ  
て  
お茶  
を  
飲  
ま  
せ  
て

お茶を  
飲ませ  
て  
お茶  
を  
飲  
ま  
せ  
て



お茶を  
飲ませ  
て  
お茶  
を  
飲  
ま  
せ  
て

お茶を  
飲ませ  
て  
お茶  
を  
飲  
ま  
せ  
て

お茶を  
飲ませ  
て  
お茶  
を  
飲  
ま  
せ  
て



氏お助の情の...  
 やお助の情の...  
 下よりとる...  
 同助

和助

お助の情の...  
 下よりとる...  
 同助



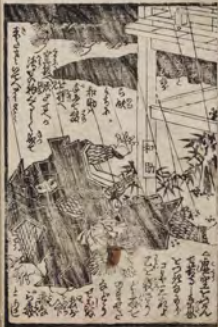
お助の情の...  
 下よりとる...  
 同助



お助の情の...  
 下よりとる...  
 同助















三つ  
 五つ  
 七つ  
 九つ  
 十一つ  
 十三つ  
 十五つ  
 十七つ  
 十九つ  
 二十一つ  
 二十三つ  
 二十五つ  
 二十七つ  
 二十九つ  
 三十一つ  
 三十三つ  
 三十五つ  
 三十七つ  
 三十九つ  
 四十一つ  
 四十三つ  
 四十五つ  
 四十七つ  
 四十九つ  
 五十一つ  
 五十三つ  
 五十五つ  
 五十七つ  
 五十九つ  
 六十一つ  
 六十三つ  
 六十五つ  
 六十七つ  
 六十九つ  
 七十一つ  
 七十三つ  
 七十五つ  
 七十七つ  
 七十九つ  
 八十一つ  
 八十三つ  
 八十五つ  
 八十七つ  
 八十九つ  
 九十一つ  
 九十三つ  
 九十五つ  
 九十七つ  
 九十九つ  
 百一つ

此の書は、  
 一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、  
 十一、  
 十二、  
 十三、  
 十四、  
 十五、  
 十六、  
 十七、  
 十八、  
 十九、  
 二十、  
 二十一、  
 二十二、  
 二十三、  
 二十四、  
 二十五、  
 二十六、  
 二十七、  
 二十八、  
 二十九、  
 三十、  
 三十一、  
 三十二、  
 三十三、  
 三十四、  
 三十五、  
 三十六、  
 三十七、  
 三十八、  
 三十九、  
 四十、  
 四十一、  
 四十二、  
 四十三、  
 四十四、  
 四十五、  
 四十六、  
 四十七、  
 四十八、  
 四十九、  
 五十、  
 五十一、  
 五十二、  
 五十三、  
 五十四、  
 五十五、  
 五十六、  
 五十七、  
 五十八、  
 五十九、  
 六十、  
 六十一、  
 六十二、  
 六十三、  
 六十四、  
 六十五、  
 六十六、  
 六十七、  
 六十八、  
 六十九、  
 七十、  
 七十一、  
 七十二、  
 七十三、  
 七十四、  
 七十五、  
 七十六、  
 七十七、  
 七十八、  
 七十九、  
 八十、  
 八十一、  
 八十二、  
 八十三、  
 八十四、  
 八十五、  
 八十六、  
 八十七、  
 八十八、  
 八十九、  
 九十、  
 九十一、  
 九十二、  
 九十三、  
 九十四、  
 九十五、  
 九十六、  
 九十七、  
 九十八、  
 九十九、  
 百

伊達様  
實録  
譚



九  
七

此の巻の巻頭は  
 神代卷の巻頭は  
 神代卷の巻頭は



此の巻の巻頭は  
 神代卷の巻頭は  
 神代卷の巻頭は





天竺の  
神を  
祀りて  
山を  
平ら  
しむ  
と云  
ふ事  
あり  
と云  
ふ事  
あり  
と云  
ふ事  
あり



天竺の神を祀りて山を平らしむと云ふ事ありと云ふ事ありと云ふ事あり



天竺の神を祀りて山を平らしむと云ふ事ありと云ふ事ありと云ふ事あり



月夜に満月を  
 籠に映して  
 提灯の光を  
 座敷に照らす  
 人坐す

月夜に満月を  
 籠に映して  
 提灯の光を  
 座敷に照らす  
 人坐す

月夜に満月を  
 籠に映して  
 提灯の光を  
 座敷に照らす  
 人坐す



月夜に満月を  
 籠に映して  
 提灯の光を  
 座敷に照らす  
 人坐す

月夜に満月を  
 籠に映して  
 提灯の光を  
 座敷に照らす  
 人坐す

月夜に満月を  
 籠に映して  
 提灯の光を  
 座敷に照らす  
 人坐す



中上は...  
 今更に...  
 今更に...  
 今更に...  
 今更に...

今更に...  
 今更に...  
 今更に...  
 今更に...

今更に...  
 今更に...  
 今更に...  
 今更に...



今更に...  
 今更に...  
 今更に...  
 今更に...

今更に...  
 今更に...  
 今更に...  
 今更に...

今更に...  
 今更に...  
 今更に...  
 今更に...

△上は...  
△下は...  
△中は...



△左の...  
△右の...  
△下の...

△上の...  
△下の...  
△中の...



△左の...  
△右の...  
△下の...









江戸の町に  
 住む女は  
 子供を  
 抱きかか  
 へて  
 泣く

江戸の町に  
 住む女は  
 子供を  
 抱きかか  
 へて  
 泣く

江戸の町に  
 住む女は  
 子供を  
 抱きかか  
 へて  
 泣く

江戸の町に  
 住む女は  
 子供を  
 抱きかか  
 へて  
 泣く



江戸の町に  
 住む男は  
 酒を  
 飲む

江戸の町に  
 住む男は  
 酒を  
 飲む

江戸の町に  
 住む男は  
 酒を  
 飲む

江戸の町に  
 住む男は  
 酒を  
 飲む



後香のつらき... 行方と本... の御本...

もんごん... 御本...

とんごん... 御本...

くま... 御本...

御本... 御本...

國政要

御本... 御本...

